ポスター発表

2025年11月2日(日) 13:00 ~ 13:50 | 会場(金森産業ホール)
[P2] ポスター発表 #2

[P2-20] オフィスビルの外観がもたらす印象の定量的評価

*藤田 晋太朗[1]、沖 拓弥[1]、松尾 和史[2]、今関 豊和[2] (1. 東京科学大学、2. オフィスビル総合研究所)

キーワード：オフィスビル、ビッグデータ、建物外観、印象評価、機械学習、ヘドニック分析、アンケート、地域分析

建物の外観は、その建物のみならず、街路の景観や街の印象にも影響を及ぼす重要な要素であり、筆者らは賃貸住宅を例にその重要性を検証してきた。外観の重要性については、オフィスビルも例にもれないと考えられるが、どのような外観がどのような人々に好まれ、賃料などにどのように影響を及ぼし得るかを定量的に検証した研究は見られない。
そこで本研究では、オフィスビルのビッグデータを活用し、オフィスビルの外観がもたらす印象とその影響を定量的に評価することを目的とする。具体的には、外観画像と属性情報を有するデータベースから、東京23区内のオフィスを計666棟サンプリングする。そして、大都市圏に勤務するオフィスワーカーを対象に印象評価アンケートを行い、その結果を学習させた印象評価推定モデルから出力される印象評価スコアに基づき、回答者属性や建物の年代・規模による印象評価傾向や、賃料などとの関係を分析・考察する。

©一般社団法人地理情報システム学会